

Enigma Sopranino の導入(7)

—JBL4350A への付加(2)—

1. 始めに

[前報\(6\)](#)で JBL4350A への Sopranino の付加の条件が決まりましたので、順次いろいろな音源から試聴を始めます。

2. Sopranino の試聴方法

[Enigma Sopranino の試聴\(2\)](#)および[前報\(6\)](#)から PTR7 を外し ES-105 への結線と平行に Sopranino に結線することが一番良い結果が得ましたので、この条件で[前報\(6\)](#)に引き続き、BS 録画の再生を行うとともに EMT981 による CD の再生を行いました。

3. Sopranino の試聴結果

BS 録画の再生では、[前報\(3\)](#)の FAL C90EXW と同様、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノ、チェンバロ、ギターなどの独奏と弦楽四重奏、弦楽五重奏、ピアノ弦楽五重奏などの室内楽、小編成のバロックアンサンブルとフルオーケストラなど広範囲のジャンルを聴いていきましたが、音の質感と音場感とも JBL4350A としては今までにない満足すべきレベルに達していることが確認できました。音の佇まいは FAL C90EXW と良く似てきましたが、JBL の 2440 と 2405 のホーンの音はマイルドになったとは言え、エッジの利いた音として残っています。JBL4350A が FAL C90EXW とは違うもっとも魅力的なところは地を這うような重低音でグランカッサなどの部屋を揺るがすような音は追従を許しません。そういった低音に支えられたフルオーケストラはスケール感溢れるものです。

EMT981 による CD の再生では、ヴァイオリン、チェンバロ、尺八と琴、小編成のバロックアンサンブルとフルオーケストラなどを順次聴いていきましたが、BS 録画の再生同様、これまでに JBL4350A では聴いたことのないグレードのパフォーマンスになりました。JBL4350A はもともと浸透性のある音がしますのでヴァイオリンなどは小ホールで近接して聴いているような印象です。尺八と琴の音の立ち上がり、フルオーケストラのスケール感も魅力的です。

4. まとめ

BS 録画の再生と EMT981 による CD の再生とも、JBL4350A としては今までにない満足すべきレベルに達していることが確認できました。

以上